

# プレス・リリース

APF出席アフリカNGO  
2008年G8サミットNGOフォーラム 貧困・開発ユニット  
TICAD IV・NGOネットワーク(TNnet)

アフリカ・パートナーシップ・フォーラムの会場より

日本、4月7日 17時24分

## 東京で開催されたアフリカ・パートナーシップ・フォーラムで アフリカと日本の市民社会、連帯してアフリカ開発に政策提言

「アフリカ・パートナーシップ・フォーラム」は、G8 プロセスの一環として、アフリカ諸国および国際機関と、G8 諸国のアフリカ関係首脳特別代表 (Africa Personal Representative: APR) がアフリカ開発について討議する会合で、年に2回開催されます。第10回「アフリカ・パートナーシップ・フォーラム」(以下APF)は4月7～8日にかけて、東京・港区の三田共用会議所で開催されました。

APFには、アフリカと日本の市民社会の代表が参加しました。APFに出席した市民社会参加者は、市民社会がもっと団結して、アフリカ大陸を平和と進歩、民主主義と繁栄をもたらそうという取り組みにより積極的に参画する決意を新たにしました。市民社会の役割は、G8を始めとする援助国・国際機関などの国際的な開発パートナーとアフリカ諸国政府が、責任を持ってアフリカを導くように、アフリカの開発プロセスを検証、評価することです。

市民社会の参加者は、「第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)とG8北海道・洞爺湖サミットを通じて、活力あるアフリカを現実に」と題された第10回APFの参加者に対して、アフリカの過去を特徴づけてきた苦悩と困難を取り除くように主張しました。彼らは、アフリカにおける「ミレニアム開発目標」の達成を引き続き焦点化するように求め、アフリカ政府および援助国政府・国際機関に対して、次のように主張しました。「アフリカ開発の主人公はアフリカの民衆です。皆さんは、もっと耳を傾け、もっと理解し、どのようにアフリカの人びとと協力することが最もよい方法なのか、学ぶべきなのです」

市民社会の参加者は、経済成長や民主化の進展など、アフリカが成し遂げつつある成果を紹介しました。彼らは、APF、来るTICAD IVおよびG8サミットが、より大きなパートナーシップを生み出し、アフリカの困難に挑戦する効果的な行動を呼び起こすための場になりうるとして、期待を表明しました。彼らはその一方で、アフリカに具体的な変化をもたらすためには、アフリカと先進国の政府双方が、資金と政策の実施において、より大きな貢献をしなければならないと指摘しました。そして、彼らは以下のことを提言しました。

- A. 「良き統治」(good governance)に関わる問題により大きな関心が払われなければならない。特に、選挙プロセスが暴力の着火点となることを避け、自由で公正なものにしなければならない。
- B. 国際社会および援助国・国際機関などは、アフリカ諸国の現行憲法を擁護し、とくにアフリカ諸国の現政権が在任期間を延長するために行う憲法の改定などを許さないよう行動する必要がある。
- C. アフリカの人間開発と貧困削減の最重要課題としてのMDGsの達成について、再度焦点を当てなければならない。
- D. 開発プロセスにおいて、貧困者を中心におく(pro-poor)経済成長を主流化しなければならない。
- E. 量的に適切で、予測可能な資金が、小・中規模な事業への投資、マイクロファイナンス、大規模投資など、経済成長の加速化のために投入されなければならない。

- F. アフリカの真の経済の大部分を構成している、インフォーマル経済や農業などに、より強い関心を払わなければならない。
- G. アフリカの農業生産者の利益を低く押さえ込み、窒息に追い込んでいる、先進国による貿易上の障壁や農業補助金などを撤廃しなければならない。
- H. 農村地域在住の人びと、特に女性の経済活動の活性化と生活の質の向上のために、インフラ投資と情報コミュニケーション技術（ICT）にさらなる投資を行わなければならない。
- I. 既存の ODA コミットメントとは別に、気候変動への適応策のための資金が提供されなければならない。これらの資金は、草の根のレベルの多様なニーズを満たすために活用され、市民社会のパートナーがアクセス出来るものでなければならない。
- J. 国際的な開発パートナー、とくに富裕国は、グレンイーグルズ G8 サミットで行った援助増額の約束を守らなければならない。
- K. 貧困と闘い、貧困者を中心におく経済成長を促進するために、人びとの主張、人びとの懸念が聞き届けられなければならない。全てのレベルにおいて、市民社会の参加、とくに、草の根のコミュニティを基礎とした組織の参加を保障しなければならない。
- L. アフリカと日本の市民社会のパートナーシップと協力関係が強化される必要がある。

そのほか、市民社会は、アフリカの女性たちが陥っている困難に取り組むことの重要性を強調しました。アフリカの女性たちは、本来、アフリカの経済成長を確実なものとし、貧困を軽減し、平和と安全、そして良き統治をもたらすための鍵であるといえます。市民社会は、女性の政治的・経済的・社会的な側面での、より積極的な参画を求め、女性が背負っている重荷を取り除き、女性をもつ政治的・経済的・社会的な指導力を解き放つことが必要だと主張しています。アフリカ市民社会APF技術委員会（African Civil Society APF Technical Committee）の議長であるビネタ・ディオプ氏（Ms. Bineta Diop）は、「私たちはジェンダーの課題が、会議の議題として位置づけられるように努力しています」と述べています。

最後に、市民社会の代表者たちは、指導者たちに対して、G8 とAPFのプロセスにおいて、市民社会が統合された形で常に参加できる仕組みが必要であると主張しました。市民社会がAPFの目標の達成に貢献するための技術、状況把握の能力、そして実践的な知識を持って、こうした会議に出席しているのだ、ということを経験者たちは認識する必要があります。

今回のAPFに対するアフリカの市民社会の取り組みの取り纏めを行ったダボ・オイェウォレ氏（Mr. Dapo Oyewole）は次のように述べています。「指導者たちが、われわれの将来に関わる決定を行う権限を有している以上、私たちは、市民社会の主張、そして市民社会の懸念を、APFに参加する政府・国際社会の指導者たちに確実に伝え続けていきたいと考えています」。アフリカの市民社会の参加者たちは、指導者たちと共に、APFの目標達成のために努力していきたい、しかし、APFのプロセスにおいて、市民社会の独立性を保持していく必要がある、と述べました。

より詳細な情報については、以下にお問い合わせ下さい。

- ダボ・オイェウォレ： APF 関連アフリカ市民社会取りまとめ責任者  
'Dapo Oyewole, Focal Point for African civil society: [dapo@thinkafrica.org](mailto:dapo@thinkafrica.org)
- 稲場雅紀： APF 関連日本市民社会取りまとめ責任者（G8NGO フォーラム）  
Masaki Inaba, Focal Point for Japanese civil society (2008 G8 Summit NGO Forum):  
[masaki.inaba@gmail.com](mailto:masaki.inaba@gmail.com), <http://www.g8ngoforum.org>
- 富田杏子： APF 関連日本市民社会取りまとめ責任者（TICADIV NGO ネットワーク）  
Toko Tomita, Focal Point for Japanese civil society (TICAD IV-NGO Network):  
[toko@hungerfree.net](mailto:toko@hungerfree.net), <http://www.ticad-csf.net/TNnet/>